

2025 年 11 月 17 日

報道関係各位

GMO メイクショップ株式会社

**GMO メイクショップ、ジェイグラブ株式会社の全株式を取得し、
越境 EC 領域でのグローバル展開を加速
～海外市場へ挑む国内 EC 事業者を強力支援～**

GMO インターネットグループの GMO メイクショップ株式会社（代表取締役社長 CEO：向畑 憲良、以下、GMO メイクショップ）は、2025 年 11 月 17 日（月）に、日本企業のグローバル展開を支援する越境 EC プラットフォーム「j-Grab Mall（ジェイグラブモール）」を提供するジェイグラブ株式会社（代表取締役：山田 彰彦、以下、ジェイグラブ）の全株式を取得する株式譲渡契約を締結いたしました。なお、ジェイグラブは 2026 年 1 月 1 日（予定）付で当社の連結企業となり、2026 年 1 月 5 日（予定）付で社名を「GMO グローバル EC 株式会社」に変更いたします。

今回の株式取得により、GMO メイクショップは、EC サイト構築から海外販売支援までをワンストップで提供できる体制を構築し、EC 事業者のグローバル展開を強力に支援してまいります。

**GMOメイクショップによる
ジェイグラブ株式会社の株式取得のお知らせ**



【背景】

EC 市場は近年成長を続けるなか、国内市場の成熟化や人口減少を背景に、海外市場への展開を検討する EC 事業者が増加しています。実際に、EC を利用または検討している企業の 6 割超が、海外向け販売での EC 活用・検討に関心を寄せていることから、そのニーズの高さがうかがえます^(※1)。しかし、越境 EC には、言語対応、決済、物流、海外モールへの出店手続き、マーケティング、法規制対応などといった、多岐にわたる専門知識とリソースが必要となります。これらの課題が、多くの EC 事業者にとって海外展開の障壁となっていました。

ジェイグラブは、越境 EC プラットフォーム「j-Grab Mall」の運営や海外 EC モール出店・運営サポートなどのコンサルティング業務を通じて、これらの課題を解決し、日本企業の海外進出を支援しています。特に、「j-Grab Mall」は、海外の主要 EC モールとの連携や、海外物流代行といった機能を提供しており、手軽に越境 EC を開始できる点が強みです。

(※1) ジェトロ 「2024 年度 日本企業の海外事業展開に関するアンケート調査 (2025 年 3 月)」

https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/c45cf2de4d0ebf45/20240043.pdf

■ 株式取得の狙い

GMO メイクショップは、EC サイト構築 SaaS「makeshop byGMO」や「GMO クラウド EC」を提供しています。これらのサービスは、EC 事業の成長をサポートする豊富な基本機能に加え、サードパーティーによるアプリケーションの提供や外部ツールとの API 連携によって高い拡張性を実現しています。最新の商習慣に合わせた効率的なソリューションを提供することで、数多くの事業者にご利用いただいています。

また、ジェイグラブは、越境 EC プラットフォーム「j-Grab Mall」を通じて、多岐にわたる越境 EC の課題をワンストップで解決し、テストマーケティングから本格展開までを支援する専門企業です。

GMO メイクショップは、こうした背景のもと、EC 市場における事業者からのグローバル展開のニーズに応えるために、この度、ジェイグラブの株式を取得し連結企業とすることを決定しました。

今回の仲間づくり^(※2)により、ジェイグラブが持つ越境 EC の専門知識やグローバルネットワークと、「makeshop byGMO」の EC 構築のノウハウを融合させ、国内の EC 事業者にも効果的な海外販売ソリューションを提供することが可能になります。

(※2) GMO インターネットグループでは、一般的な M&A という言葉ではなく「仲間づくり」と表現しています

【今後の展開と連携サービスについて】

今回のジェイグラブとの仲間づくりは、GMO メイクショップにとって単なる事業拡大にとどまらず、EC プラットフォームとしての進化を加速させる重要な戦略的ステップとなります。具体的には、以下を軸にサービスの展開を予定しております。

■ 「makeshop byGMO」と「j-Grab Mall」連携による越境出品機能の強化とグローバル販路の拡大

ジェイグラブが有する越境 EC プラットフォーム「j-Grab Mall」の機能と、GMO メイクショップの EC サイト構築 SaaS「makeshop byGMO」との連携を図ります。これにより、EC 事業者はこれまで以上に手軽かつ効率的に海外市場への出品・販売が可能になります。具体的には、「makeshop byGMO」の商品情報を「j-Grab Mall」へ連携できるサービスを提供することで、越境 EC における出品のハードルを下げます。これにより、国内 EC 事業者のグローバル販路拡大を支援し、海外市場での新たな収益源の創出に貢献します。

■ 越境 EC コンサルティングの強化と事業成長の支援

ジェイグラブが長年培ってきた海外 EC モールへの出店・運営サポート、マーケティング戦略、法規制対応などの越境 EC コンサルティングサービスのノウハウを GMO メイクショップでも展開します。越境 EC のコンサルティングを通じて、EC 事業者は海外市場における競争力を高め、持続的な成長を実現することが可能になります。

■ 「j-Grab Mall」とは

「j-Grab Mall」は、eBay、Amazon、Walmart、Shopee、Lazada など、世界の主要 EC モールと連携し、日本企業が海外の消費者に商品を販売できる委託販売型の越境 EC プラットフォームです。出品から受注、決済、海外配送、カスタマー対応に至るまで、越境 EC に必要なさまざまな業務をすべてワンストップ

で代行し、誰でも簡単にグローバル展開を実現できます。商品カタログと写真を提出するだけで、日本の商品やブランドを世界中に販売できるため、手軽に海外市場への進出が可能です。

GMO メイクショップでは「makeshop byGMO」特別プランとして、API 連携によってよりスムーズな連携サービスの提供を予定しています。



【スケジュール（予定）】

株式譲渡契約締結日：2025 年 11 月 17 日（月）

株式譲渡実行予定日：2026 年 1 月 1 日（木）

商号変更予定日：2026 年 1 月 5 日（月）

■ 社名変更

ジェイグラブ株式会社は、2026 年 1 月 5 日（予定）付で社名を「GMO グローバル EC 株式会社」、サービス名を「j-Grab Mall」から「Japan Finds byGMO」（予定）に変更いたします。

【各代表者コメント】

■ ジェイグラブ株式会社 代表取締役 山田 彰彦氏

日本では少子高齢化と人口減少という構造的な課題が待ったなしの状況にあります。国内市場の縮小が進む中、日本の素晴らしい商品をいかにして海外へ広げていくかが、今まさに問われています。今回、国内最大級の SaaS 型 EC プラットフォーム「makeshop byGMO」を運営する GMO メイクショップ様にグリープインし、日本全国の事業者様の商品を、世界の主要 EC モールやリアル店舗へ届けていく仕組みを本格的に構築してまいります。

これまで越境 EC は、貿易や外国語など専門知識や多大なコスト、運用体制が必要とされる「難しい挑戦」でした。しかし、私たちはこの提携を通じて、「『makeshop byGMO』で国内販売をしているだけで世界へ販売できる」という、誰もが海外展開に挑戦できる新しいステージを実現してまいります。ジェイグラブが 15 年以上にわたり培ってきた海外販売のノウハウと、「makeshop byGMO」が誇る 12,000 店舗

以上の強固な基盤を掛け合わせることで、日本の中小企業や地域ブランドの可能性を世界に広げ、持続可能な成長の道を切り拓いていきたいと考えています。

私たちは、単なるシステム連携ではなく、「仲間づくり」として共に挑戦し、共に成長し、そして共に成功することをめざします。日本の未来を支える事業者の皆さまと一緒に、越境 EC の No.1 プラットフォームを築いてまいります。

■ GMO メイクショップ株式会社 代表取締役社長 CEO 向畑 憲良

私たち GMO メイクショップは、EC 事業者の皆さまが国内外の市場で成功を収めるための革新的なソリューションの提供に全力を尽くしてまいりました。このたび、ジェイグラブ株式会社の全株式取得と連結化を通じて、越境 EC の課題解決において新たな一歩を踏み出すことができることを大変誇りに思います。

ご存知の通り、自社 EC サイトの多言語・多通貨対応だけでは海外市場での成功は限定的です。言語や文化の壁を乗り越え、海外シェアを築くためには、これまで以上の戦略的な取り組みが不可欠となります。

ジェイグラブという新たな仲間をむかえることで、我々のエコシステムを進化させ、国内の EC 市場の持続的成長とともに、日本ブランドの海外進出を一層後押ししてまいります。未来志向の企業連携を通じて、グローバル市場を見据えて最前線で挑戦し続けるすべての EC 事業者のパートナーであり続けることを約束します。

【GMO メイクショップの仲間づくりについて】

GMO メイクショップでは、EC プラットフォームとしての価値向上と、EC 事業者の成長支援を加速させるため、戦略的な仲間づくりと業務資本提携を積極的に推進してまいりました。仲間づくりでは、GMO メイクアプリ株式会社（旧 anect 株式会社）のグループジョインや GMO システムコンサルティングとの合併を成功させ、事業拡大と企業価値向上に大きく貢献しています。また、業務資本提携においては、GMO メイクショップのブランド力と 12,000 店舗以上を抱えるプラットフォームを活用することで、参画企業は高い信頼性と営業効果を得て、事業拡大を加速させています。

GMO メイクショップが各サービス運営で培ったノウハウを掛け合わせることで、EC 事業者の成長に貢献できるサービス開発・提供に邁進するとともに、近接分野における新たなサービスの展開も検討してまいります。

【今後の展望】

GMO メイクショップは、今回の仲間づくりを通じて、EC サイト構築から海外販売支援、そして戦略的なコンサルティングまでを一貫して提供するプラットフォームへと進化します。これにより、EC 事業者の皆様が直面するグローバル展開のハードルを徹底的に下げ、日本の優れた商品やサービスが世界に羽ばたくための強力なインフラとなることをめざしてまいります。

【GMO メイクショップ株式会社について】

GMO メイクショップは「Commerce for a better future. / 商取引でより良い未来に」をミッションに掲げ、ネットショップ支援事業を展開しています。EC 構築支援をはじめ、EC マーケティング支援や EC 運用受託にも対応しており、さらに、運営資金調達のための補助金・助成金の申請支援や、EC 売上を最短即日で入金可能な『即日売上入金サービス』の提供を通じて、キャッシュフローの改善も支援するなど、EC 領域における一気通貫の支援体制を構築しています。

13 年連続で業界 No.1 ^(※3) の EC サイト構築 SaaS「makeshop byGMO」に加え、アドオン開発に対応する上位版サービスとして、「GMO クラウド EC」も提供しており、スタートアップから大規模 EC まで、あらゆるビジネスの EC 化をサポートしています。

今後も GMO メイクショップは、広範な EC 領域において店舗様が抱えるさまざまな課題を解決できるよ

う、サービスのさらなる強化を図り、国内 EC 市場のさらなる活性化に貢献してまいります。

(※3) EC サイト構築サービス運営企業各社の発表数値より SaaS 型の数値を比較 (GMO メイクショップ調べ 2025 年 4 月時点)

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO メイクショップ株式会社

管理本部 広報担当 木村

TEL : 03-5728-6227 E-mail : pr@ml.makeshop.jp

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 小犬丸

TEL : 03-5456-2695

URL : <https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【サービスに関するお問い合わせ先】

●GMO メイクショップ株式会社

サポート窓口

TEL : 03-5728-6224

E-mail : help@makeshop.jp

【GMO メイクショップ株式会社】 (URL : <https://www.makeshop.co.jp/>)

会社名	GMO メイクショップ株式会社
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 CEO 向畑 憲良
事業内容	■ネットショップ支援事業 (EC 構築支援・EC マーケティング支援・EC 運用受託)
資本金	5,000 万円

【ジェイGrab株式会社】 (URL : <https://www.j-grab.co.jp>)

会社名	ジェイGrab株式会社
所在地	東京都渋谷区桜丘町 14 番 1 号 ハッチェリー渋谷
代表者	代表取締役社長 山田 彰彦
事業内容	■越境 EC プラットフォーム運営「j-Grab Mall」 ■EC サイト構築・運営サポート ■海外進出コンサルティング
資本金	49,253,440 円

【GMO インターネットグループ株式会社】 (URL : <https://group.gmo/>)

会社名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証 プライム市場 証券コード : 9449)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	持株会社 (グループ経営機能) ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産 (仮想通貨) 事業
資本金	50 億円

